

奈良県損害保険防犯対策連絡協議会総会を開催

～損保業界と警察・関係団体との連携の重要性を再認識～

日本損害保険協会近畿支部委員会（委員長：中村 哲・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社常務執行役員）では、7月6日（木）に奈良市内で、令和5年度奈良県損害保険防犯対策連絡協議会総会を開催し、来賓・顧問・会員など37名の出席がありました。

開会に際し、奈良県損害保険防犯対策連絡協議会の 藤居 亮一朗 会長（あいおいニッセイ同和損害保険株式会社奈良支店長）から、関係各位のご協力のもと昨年からの開催を再開し、43回目の総会が開催できたことへの謝辞とともに、「保険制度を悪用した行為が後を絶たないが、不当不正請求は断じて許さないという基本理念をもとに、不当不正請求の排除、保険犯罪の防止に一層の努力を重ねたい。」との挨拶がありました。

当協議会顧問の奈良県警察本部 山野 勝彦 刑事部長からは、県内の治安情勢や交通事故発生件数、さらには暴力団情勢等のお話しを交えてご挨拶がありました。

また、ご来賓の挨拶では、奈良弁護士会民暴・非弁活動取締委員会の 加見 旬嗣 委員長から、暴力団による民事介入は減少しているものの、引き続き本協議会を通じた関係団体の連携は極めて重要である旨のお話しがあったほか、公益財団法人奈良県暴力団追放県民センター 上津 詔彦 事務局長からは反グレ集団への課題認識と組織的対応の強化について、暴排条項の見直しが必要とされており、関係各位との連携を密にしていきたいとお話しがありました。

続いて、当協議会の 黒石 幹事（あいおいニッセイ同和損保社）から、令和4年度の活動報告および令和5年度の活動計画提案があり、当協議会の活動の活性化、情報交換の強化、弁護士会との連携強化、医師会との連携強化等に取り組むことが満場一致で承認されました。

その後、当協議会の 北村 会員（損保ジャパン社）により「損害保険事業の社会公共性に鑑み、警察との緊密な連携のもとあらゆる暴力や不正を排除し、事業の健全な発展をはかる」旨の決議文が力強く読み上げられ、小柳 副会長（損保ジャパン社）の「災害に乗じた悪質な修理業者の不正請求が問題化し、柔道整復師の不正請求も後を絶たず、損保業界を取り巻く情勢は依然として厳しい環境下にあるが、関係機関の皆様と連携して、「不当・不正請求の排除」、「保険犯罪の防止」に向けて、一層の努力を重ねたい」との挨拶で第一部を締めくくりました。

第二部では、奈良県警察本部 生活安全部生活安全企画課 梶 祐吾 犯罪抑止対策室長から「最近の犯罪情勢」について、次いで、同交通部交通指導課 杉澤 克典 課長補佐から「最近の保険金詐欺」について、最後に、同刑事部組織犯罪対策課 河原 宏 課長補佐から「暴力団情勢等」について、それぞれ講演をいただき、知見を広めることができました。

損害保険業界では、1979年から民事介入暴力対策および不正請求対策として、警察・関係団体と連携を図り、健全な損害保険事業の運営を行うため、全国にこのような協議会を設けています。

総会の概要は次のとおりです。

第43回奈良県損害保険防犯対策連絡協議会総会 式次第

第1部 総会

1. 会長挨拶
2. 顧問・来賓挨拶 奈良県警察本部 刑事部長 山野 勝彦 様
奈良弁護士会 民暴・非弁活動取締委員会 委員長 加見 旬嗣 様
公益財団法人奈良県暴力団追放県民センター 事務局長 上津 詔彦 様
3. 令和4年度活動報告・令和5年度活動計画（案）
4. 決議文採択
5. その他

第2部 講演会

「最近の犯罪情勢について」

講師 奈良県警察本部 生活安全部 生活安全企画課 犯罪抑止対策室長 梶 祐吾 様

「最近の保険金詐欺について」

講師 奈良県警察本部 交通部 交通指導課 課長補佐 杉澤 克典 様

「暴力団情勢等について」

講師 奈良県警察本部 刑事部 組織犯罪対策課 課長補佐 河原 宏 様



司会の池口幹事（東京海上日動社）



開会挨拶をする藤居会長（あいおいにっけい同和損保社）



活動報告を行う黒石幹事（あいおいにっけい同和損保社）



決議文を読み上げる北村会員（損保ジャパン社）



閉会挨拶をする小柳副会長（損保ジャパン社）



会場の様子